

プログラム

| | |
|-------------|--|
| 8:45～9:15 | 中部支部例会参加登録 |
| 9:15～9:20 | 例会開会・支部長挨拶 |
| 9:20～10:20 | 一般演題(OHPによる口頭発表) |
| 10:30～13:00 | シンポジウム「シグナルネットワークの解明に向けて」 (座長: 貝淵 弘三) |

- S1: AktとERK経路のシステム生物学
黒田真也: 東京大学・大学院理学系研究科
- S2: 低分子量GTP結合タンパク質の四次元イメージング
松田道行: 京都大学・大学院生命科学系研究科
- S3: CD44の細胞内相互作用の構造的基礎
箱嶋敏雄: 奈良先端科学技術大学院大学・情報科学研究科
- S4: 次世代プロテオミクスが拓く生命科学研究の新地平: もうウェスタンブロットングは要らない?!
中山敬一: 九州大学・生体防御医学研究所
- S5: 抗リン酸化抗体とチェックポイントシグナル
稲垣昌樹: 愛知がんセンター研究所・発がん制御研究部
-

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 13:00～14:30 | 昼食 |
| 14:30～16:30 | 一般演題(ポスター討論) (15:45までにポスター奨励賞投票) |

- ケラチン結合蛋白質であるトリコプレインは一次線毛形成を抑制する
猪子誠人(愛知がんセ研・発がん制御)
- ケラチン結合蛋白質trichopleinは中心小体に局在し微小管のanchoring (アンカリング)を制御する
衣斐美歩(愛知がんセ研・発がん制御)
- Septin 14 is involved in cortical neuronal migration via interaction with Septin 4
篠田友靖(愛知県コロニー・発達障害研・神経制御)
- 大脳皮質形成過程におけるロコモーション移動を制御する分子機構の解析
西村嘉晃(愛知県コロニー・発達障害研・神経制御)
- 中性子小角散乱法による大腸菌外膜蛋白質OmpA界面活性剤複合体の構造解析
小野内優里(岐阜大・工・生命工学)
- p38 mitogen-activated protein kinaseを介した上皮成長因子受容体(EGFR)のセリン残基1046/1047のリン酸化は、EGFRの脱感作を引き起こす。
足立政治(岐阜大・院医・薬理病態)
- バーチャルスクリーニングを用いた癌マーカー酵素AKR1B10の強力な阻害剤の探索
遠藤智史(岐阜薬大・生化学)
- DNAメチル化阻害剤5-aza-2'-deoxycytidineによるDNA複製依存的DNA二本鎖切断誘導にはDNMT1とUHRF1が関与する
中林 裕貴(三重大・院生資・分子細胞生物学)
- 心筋トロポニンTの定量的発現抑制による心室拡張障害の解明
梅本紀子(三重大・院医・薬理ゲノミクス)
- ペプチド抗原に対する特異的モノクローナル抗体作製技術の開発
小畑晴香(三重大・院工・分子生物工学)
- 組換えバキュロウイルスを用いた膜融合によるシグナル伝達経路タンパク質の巨大

リポソーム膜への搭載

- 館昭博(三重大・院工・分子生物工学)
12. PSD-95 palmitoylation upon synaptic activity regulates AMPA receptor homeostasis
則竹淳(生理研・生体膜研究部門)
13. Identification and functional analysis of a novel LewisX-synthesizing α 1,3-fucosyltransferase gene in neural precursor
吉村武(生理研・分子神経生理)
14. 腫瘍リンパ管新生が及ぼす薬物ナノキャリア腫瘍移行性への影響
清水広介(静岡県大・薬・医薬生命化学)
15. ミトコンドリア標的化p53を用いた新規がん遺伝子治療法の開発
平島幸治(静岡県大・薬 Global COE)
16. 脱髄性疾患におけるシステインプロテアーゼインヒビターCystatin Fの機能解析
清水崇弘(総研大・生命科学・生理科学)
17. The role of Bergmann glia in cerebellar development
杉尾翔太(総研大・生命科学・生理科学)
18. Bre1, a histone 2B ubiquitin ligase, is one of the modulators of neural stem cell fate.
石野雄吾(総研大・生命科学・分子神経生理)
19. チャネル構造を有するタンパク質の設計とリガンド結合能の評価
右近卓也(名工大・院工)
20. 金属イオン応答性人工転写因子の構築
村瀬茂雄(名工大・院工・物質工)
21. 三本鎖コイルドコイル構造に結合するペプチドリガンドの設計
本多章一郎(名工大・院工・物質工)
22. FAD104 が骨分化に与える影響の解析
加藤愛友美(名市大・院薬)
23. pseudokinase TRB1によるCdc25Aの発現制御機構の解析
酒井聡(名市大・院薬・代謝)
24. ガングリオシドクラスターに結合したアミロイド β のNMR構造解析
矢木真穂(名市大・院薬・生命分子構造)
25. 出芽酵母における可溶性H2A/H2B複合体スナップショット解析
加藤麻希(名市大・院システム自然・生体情報)
26. 分裂酵母の新規クロマチン関連因子Mlo2とH3-H4相互作用解析
伊縫美妃(名市大・院システム自然科学・生体情報)
27. 細胞膜結合型カルシウム結合タンパク質PCaP1の傷害ストレス応答について
秋田瑞穂(名大・院生命農・細胞ダイナミクス)
28. 動物細胞を宿主とする植物膜輸送体候補遺伝子総当たり過剰発現系の構築と、それを利用したモリブデン輸送体遺伝子の探索
佐藤世理(名大・院生命農・細胞ダイナミクス)
29. 植物液胞膜プロトンポンプH⁺-pyrophosphataseの液胞バルブ様構造への局在
瀬上紹嗣(名大・生命農)
30. 酵母*Hansenula polymorpha*のモリブデン吸収変異株の解析
前田道子(名大・院生命農・細胞ダイナミクス)
31. RNA分解制御因子PATL1およびTTP/ZFP36のALG-2結合特性
大杉桂奈江(名大・院生命農)
32. ヒト表皮型タンパク質架橋化酵素(TGase 3)の高反応性基質配列の探索と解析
福井美奈(名大・院生命農)

33. タンパク質架橋化酵素の高反応性基質ペプチドを利用した組織内活性の可視化
伊藤みほ(名大・院生命農)
34. タンパク質架橋化酵素の骨芽細胞株における発現と基質探索系の確立
渡辺一哉(名大・院生命農)
35. 細胞質分裂関連因子IST1がcalpain 7の自己消化に与える影響
前本佑樹(名大・生命農・応用分子生命科)
36. シロイヌナズナの葉の形成とmicroRNAの発現の制御に関わるAS1およびAS2タンパク質の相互作用
上野宜久(名大・院理・生命理)
37. ホルムアルデヒド架橋法を用いた、Na⁺駆動型べん毛モーターのCリングおよび固定子複合体を含む超分子複合体の単離
小池雅文(名大・院理・生命理)
38. 蛍光相関分光法を用いた細菌べん毛回転子タンパク質FliF-FliG間相互作用の解析
小嶋誠司(名大・院理・生命理学)
39. F-BARドメインによるリポソームのチューブレーションのリアルタイム観察
滝口陽子(名大・院理)
40. 小胞体における異常分泌タンパク質の仕分け機構の解析
井澤俊明(名大・院理)
41. NMRスピラベル法によるミトコンドリアジスルフィド結合導入タンパク質Tim40とFAD結合型酸化酵素Erv1の相互作用様式の解明
安西高廣(名大・院理・生物化学)
42. in vivo部位特異的光架橋法を用いたミトコンドリア外膜透過装置サブユニットTom22の解析
塩田拓也(名大・院理・生命理学)
43. シロイヌナズナ小胞体Hsp40, AtERdj3Bの機能解析
山本雅也(名大・院理)
44. MINK1 is a new centrosome-localized protein kinase involved in cytokinesis
兵頭寿典(名大・院医・腫瘍生物学)
45. 細胞質分裂におけるSupervillinの機能解析
長谷川仁紀(名大・院医・腫瘍生物学)
46. The Rac activator Tiam1 controls focal adhesion turnover by interacting with talin
松沢健司(名大・院医・神経情報薬理)
47. Numb regulates endocytosis of E-cadherin by interacting with p120catenin
佐藤和秀(名大・院医・神経情報薬理)
48. インタラクトームによるキナーゼ基質のスクリーニング
八木覚(名大・院医・神経情報薬理)
49. Isolation of tumor-initiating cells from tumors of *MYCN*-transgenic mice
小出直史(名大・院医・分子生物学)
50. Systemic delivery of siRNA specific to tumor mediated by atelocollagen:
Combined therapy using siRNA targeting Bcl-xL and cisplatin against prostate cancer
武井佳史(名大・院医・生物化学・分子生物学)
51. Neurod1 is involved in the development of Neuroblastoma especially at initiation stage.
黄鵬(名大・院医・生物化学・分子生物学)
52. 細胞外領域におけるO-GlcNAc修飾の新たな基質の同定
堺谷祐太(名大・院医・2生化)

53. マウス肺癌の転移機構の解析

松本康之(名大・院医・分子細胞化学)

54. Niemann-Pick C型細胞におけるスフィンゴ糖脂質の細胞内輸送

吉田康将(名大・医学部医学科4年)

55. ACLラセマーゼ変異体を用いた、アミノ酸アミドのラセミ化機構の研究

鈴木康二(名大・院工・生物機能)

56. Preliminary Crystal Structure of an FAD-dependent Hydroxynitrile Lyase derived from the Japanese apricot, *Prunus mume*

Charles B. C. Gielo(名大・院工)

16:30~17:00

日本生化学会中部支部例会・総会
